

鳥インフルエンザウイルス侵入防止対策

ネズミ対策

おいしいエサが豊富にあり、適度な温度で外敵もいない畜舎は、ネズミにとって快適な条件がそろっています。

ネズミ対策には、①環境 ②物理、③化学の複合駆除が必要です。殺そ剤を使用した「毒餌法」によっても数ヶ月かかる事があります。すぐに“絶滅”させることは困難ですが、畜舎にネズミの入る穴やネズミが『ある・いるのは当たり前』ではいけません

“ネズミ駆除は大切な仕事”という飼養者（経営者、従業員）の統一した意識のもと、根気強く対策を継続し、どれだけ低密度にコントロールできるかが重要です。ネズミ対策により感染リスクを減らしましょう。

ネズミを入れない

住ませない

ネズミ数を管理

畜舎周囲のチェック

畜舎内外のチェック

殺そ剤の定期的な設置

○壁穴・水路

丈夫な金網で塞ぐ、金ダワシなどを詰める

○電線

ネズミ返しを設置
防鼠ブラシ 等

○雑草

見晴らしをよくする。
舗装や細かい砂利 等も効果的

○棲家(すみか)

天井裏、壁、床糞、堆肥場、飼料・薬品貯蔵庫、事務所、廃屋、林、田畑

○巣の材料

断熱材 等の管理

○ネズミから守る

配電盤、電線

☆「ラットサイン」確認

かじり跡、糞、足跡、姿、体のこすり跡（ラブサイン）、走り回る音、鳴き声

○ネズミ数の判定

定期的に行う
春・秋は要注意

○好みのエサ探索

常に3種類程度は把握する

○アウト時の一斉駆除

計画的、集中的に効率よく

ラットサインを探しましょう



ネズミが移動する通路はほぼ一定で、エサ場と巢のルートは変わりません

『ラットサイン』とは

かじり跡
体のこすり跡(ラブサイン)
糞
走り回る音・鳴き声
足跡 姿

写真・出展:
2011年2月24日 鹿児島県ねずみ対策研修会資料より
「畜舎におけるネズミ対策
～現場で実践可能な駆除およびコントロール～」
ノバルティスアニマルヘルス株式会社 斎藤 岳 先生



1. ネズミ数の把握

- ①ネズミの姿は見えないが、ラットサインが見える…… 100匹程度
- ②夜間に見られる…… 100～500匹程度
- ③昼は時々、夜間は更に多い…… 400～1,000匹程度
- ④昼も夜も頻繁に多い…… 5,000匹以上

2. ネズミがよく食べる毒餌を作り、よく食べる場所に

- ①クマネズミの好物
 - ・甘い(チョコレート、砂糖)
 - ・脂っこい(油揚げ、天かす、ラーメンくず)
 - ・穀類、種子類(サツマイモ、ひまわりの種、カナリヤシード、アワ、ヒエ)
- ②設置場所
ラットサインをもとにネズミの通路に仕掛ける
設置数は、50～100箇所／1,000㎡
1箇所当たり約100g
ネズミが食べて減った毒餌は、新しいものを追加
食べない場合でも、1週間はそのままにしておく
(1週間以上たった場合は、別の場所に設置)

※ネズミは人の手のおいに敏感なので、毒餌を作る際は必ず手袋着用してください。
(注意!!) 毒餌は、飼料に混入しない、誤食しない場所に設置してください。
死んだネズミは素手で触らず、見つけたら速やかに処理してください。

ネズミ対策は、一度やって終わりでは効果が持続しません。
対策を継続することが重要です。